
第 121 回関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告

CXXI Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

日時：2018 年 10 月 7 日（日）10:30 - 13:00

場所：関西学院大学梅田キャンパス(ハブスクエア) 1002 教室

担当者：岡あゆみ

「講読：La nueva gramática básica de la lengua española 第 2 部『語』 2b 語類・語種 第 22 章『属辞』 pp.213-220」

* Fecha y hora: sábado, 7 de octubre de 2018, de 10:30 a 13:00

* Lugar: Universidad Kwansei Gakuin, Campus de Umeda "K.G. Hub Square", Aula 1002

* Encargado por Ayumi OKA

* Lectura de la “Nueva gramática básica de la lengua española: Capítulo 22 “Atributo”, pp.213-220”

『新文法基礎』 pp.213-220

22 章 属辞

(担当：岡あゆみ)

●属辞の一般的特徴

名詞句や名詞節に示される指示対象を叙述する統語グループが果たす機能を属辞と呼ぶ。

属辞化の様々な構造：

- コピュラ動詞 ser, estar, parecer とともに。語彙的意味内容が乏しい動詞。叙述語と主語を結合。属辞は中性代名詞と置き換え可能。
- 準コピュラ動詞や擬似コピュラ動詞とともに。属辞を受けると、意味や文法特性を変える動詞（完全動詞→準コピュラ動詞）。中性代名詞と置き換え不可能。[意味が希薄になる]
- 完全動詞とともに。項構造が属辞を必要としない語彙的意味を持つ動詞（完全動詞のまま）。属辞は叙述補語と呼ばれる。[属辞あってもなくても意味など変わらない。]
- 絶対構文のように動詞によらない二項構造や、動詞を含まない発話において。
- 名詞構造において属辞の機能は、名詞を介して一致する名詞グループと関係づけられることもある。

●属辞になりうる文法カテゴリー（統語的グループ）

- 形容詞の属辞：最も特徴的なグループであるが、全ての形容詞が可能なわけではない。
- 名詞に属辞：コピュラ動詞 ser や parecer や、準コピュラ動詞 hacerse や volverse と容易に組み合わせるが、通常 estar や準コピュラ動詞（ponerse など）とは無理。
- 前置詞の属辞：しばしばある。（前置詞と共に使用される）名詞が主語と一致することがある。
- 副詞の属辞：多くの様態副詞が属辞として機能する。疑問詞 cómo や場所表現も。
- 節の属辞：定義や説明などで用いられる名詞節や関係節も属辞の機能を持つことができる。

●属辞の一致

・名詞との一致：属辞は、形態論的に可能な限り、叙述する名詞と一致する。

a) 形容詞の属辞は性数一致する。不定詞が含意する主語とも一致する。Inés preferiría estar sola.

b) 名詞の属辞は一般的に、名詞が性変化しない場合を除いて、一致する。La reunión fue un fracaso.

c) 属辞に代わる代名詞は中性。Parece insegura, pero no lo es.

・動詞との一致：動詞は主語と数と人称で一致するのが普通であるが、ser コピュラ文においては属辞と一致することもある。特に、主語が代名詞か中性冠詞で始まる場合。

Todo eran imaginaciones.

Aquello son molinos de viento.

Lo anterior son malas noticias.

●ser と estar との属辞

ser と用いられる属辞：個体を特徴づけるのに適した永続的・非永続的特質を表す。

estar と用いられる属辞：一時的な状態に言及する。

estar と用いられる属辞は時間的なつながりを要する。

es simpático・・・いつも、もしくは、習慣的に simpático

está simpático・・・少しの間か限定的な期間 simpático

estar は状態変化の結果（状態）や、人の一時的な、もしくは状況に応じた振舞いに言及するために使われる。

El suelo está sucio.

El gobernador estuvo cruel en su discurso,

・場所の属辞とのコピュラ文

estar：何かをある場所に位置付ける属辞に最も相応しい

ser：行為や出来事を空間や時間に位置付ける。

・名詞の属辞とのコピュラ文

属辞が名詞句グループである場合は ser と用いられるのが普通である。2種ある。

a) 特徴づけるもの、割り当てるもの。存在物が何の種類に属するのかを述べる。属辞は lo もしくは中性の指示詞と置き換え可能。また、qué を使用して尋ねる。

b) 同定するもの、等化するもの。人やモノの同一性を表す。Ana es la enfermera と言った場合、アナの属性を伝えているのではなく、誰であるかを示している。これらの文の属辞は quién や cuál の疑問文に答えるもの。中性でない指示詞と置き換えられる。また、これらの文では属辞は限定的な名詞グループである。

・形容詞の属辞とのコピュラ文

以下の場合 ser を選ぶ。

a) 属辞になることのできる分類形容詞：digital, geográfico, literario, musical, político...

b) 真実や確実性を表す形容詞。ただし、estar を許容するものもある。

c) 頻繁さや稀さを表す形容詞、状況や永続的な状態を表す述部。

d) 引き起こす意味を持つ形容詞：angustioso, preocupante, terrorífico...

e) 評価の性質を持つ形容詞。名詞節が主語。estar と用いられるものもある。

以下の場合 estar を選ぶ。

- a) かつて過去分詞だったものからできた形容詞：contento, descalzo, desnudo, lleno, quieto, vacío...
- b) 変化の過程の結果を表す過去分詞：cansado, herido, prohibido

組み合わせる動詞によって意味変化を受ける形容詞もある。(listo, rico, vivo)

ser、estar の出現には、他の統語的・意味的要因も関係していく。

(主語(モノ)の所有者を表す) 与格は estar の存在を助ける。

Los zapatos son grandes.

Los zapatos me están grandes.

Los zapatos me quedan grandes.

いくつかの特質は、主語が人間を表すか否かによって、estar か ser で叙述される。(人 estar)

Su marido estaba grave.

La enfermedad {*estaba~era} grave.

●動詞 parecer：コピュラになれるが、別の統語クラスにも属する。

- a) コピュラ動詞：名詞、形容詞、前置詞の属辞と用いられる。属辞は中性代名詞を置き換え可能。
- b) 迂言形の助動詞：不定詞が後続する場合、lo と置き換え不可能な点で、典型的なコピュラ動詞として振る舞わない。
- c) 断定を導入する動詞：parecer は que で導かれる名詞節とともに使用可能。この場合従属節が主語として機能する。parecer はこの場合コピュラ動詞として振る舞わない。

■準コピュラ動詞：基本的に3種類に区別できる。

- a) 変化の動詞：ある状態から別の状態への推移を表す。
hacerse, volverse・・・ser に相当
ponerse, quedar(se)・・・estar に相当
他に、acabar, caer, resultar, salir, terminar など。
- b) 永続、持続、継続の動詞：ある状況が現行であることを示す。
andar, conservarse, continuar, mantenerse, permanecer, seguir.
- c) 状態や特質の表明や容姿の動詞
encontrarse, hallarse, mostrarse, presentarse, revelarse.

■叙述補語

完全動詞と用いられる属辞の一種を叙述補語と呼ぶ。第一の述語に、二次的な述語を加える。

Julio llegó radiante.

動詞 llamar 以外は lo と置き換えできない。

A Lola la llamaban «la Faraona» > Se lo llamaban. (下線は発表者による)

●叙述補語の種類

・主語の叙述補語

完全動詞、人や物の一時的な状態を表す。

Natalia caminaba exhausta.

・直接補語の叙述補語

- 形容詞 Lo compraste caro.
- 名詞 Lo eligieron alcalde.
- 前置詞グループ Envió la carta sin estampilla.
- 様態の副詞 Te veo estupendamente.
- 場所の副詞 La quiero aquí.
- 形容詞句・副詞句 La llevaba en volandas.
- 節 Lo prefiero que tenga aire acondicionado.

・他の機能の叙述補語

- a) 間接補語の叙述補語 Le extrajeron la muela dormido.
- b) 被制辞（補語）の叙述補語 ¿Se acuerdan ustedes de Enrique borracho?
- c) 名詞グループの叙述補語 la llegada de Enrique cansado, el regreso de los exploradores heridos y aterrorizados, un retrato del marqués a caballo

■絶対構文

属辞が屈折動詞を介することなく名詞的要素を叙述する 2 要素からなる表現。普通は挿入句。

Terminada la reunión, el edificio quedó vacío.

●絶対構文における主語と述部

普通、主語は名詞グループで、後置される。

Terminada la reunión,

主語は従属節であることもある。

Una vez comprobado que no se podía hacer nada, se volvieron al pueblo.

主語は常に明示されるとは限らない。

Cansados, se retiraron pronto.

絶対構文の述部

- a) 過去分詞（行為を表す他動詞、非対格動詞）
- b) 副詞、副詞句
- c) 前置詞グループ
- d) 形容詞、形容詞句
- e) 名詞

■強調構文

焦点 + ser + 関係詞節 焦点 = 関係詞節

Mamá llamó a María ayer.

(A) 焦点	SER	(B) 関係詞節
Mamá	es~fue	quien llamó a María ayer
A María	es~fue	a quien llamó mamá ayer
Ayer	es~fue	cuando llamó mamá a María

通常、動詞 *ser* は関係詞節の動詞と同じ時制。3つの配列が可能。

《A-ser-B》: Mamá es (fue) quien llamó a María ayer

《B-ser-A》: Quien llamó a María ayer es (fue) mamá.

《Ser-A-B》: Es (fue) mamá quien llamó a María ayer

焦点が1人称や2人称の代名詞である時、その特徴(数・人称)を動詞 *ser* に課す。

Nosotros somos los que llamamos a María ayer.

.....

"Ellos son quienes nos enseñan cosas cada día", confiesa la directora, Mercedes Sanroma. (<https://elpais.com/>)

De hecho, los latinos **son quienes** más se emplean en labores eventuales [...]
(<https://eldiariony.com/>)